

ふれあい説明会のご案内

最近新聞紙上を賑わしている「米子城跡史跡公園化、湊山球場跡地の活用について」のふれあい説明会を開催します。

市の担当者から説明をしていただき、その後質疑応答等の時間を設けます。

この機会に、ぜひ、みなさんご参加下さい。

【日 時】 11月17日 午後7時～

【場 所】 米子市公会堂 2階集会室⑤

【問合せ先】 米子市政研究会(33-6475)

公園派

城跡も宝整備を

鳥大派

市の発展に直結

混迷する米子・湊山球場地活用

球場に近接する医学部と付属病院は学生数や患者の増加で手狭になった。学生用グラウンドは、病院の再開発に向地の有効利用を考へる有け、施設の建て替えや新設を判断する時期も迫る。

周辺の土地が使用できない場合、小川敷医学部部長は鳥取キャンパス(鳥取市)に移転する可能性も示唆する。「現有スペースでの発展は望めない。市内の執行部で検討してある」



湊山球場(中央上)や米子城跡(右上)に近接する鳥取大医学部付属病院。鳥大側は湊山公園(下)の使用も視野に入れる

二兎追えるか 市が協議開始

「共存共栄」は、米子の未来をめぐって、米子市は「共存共栄」を掲げ、米子城跡の整備事業として、三の丸跡地に於ける湊山球場(2・4・6)の敷地を史跡公園として一体的に整備・保存するため、国史跡指定を追加申請する方針を示した。しかし、鳥取大医学部などは9月、学生用グラウンドや付属病院の駐車場などに活用しようと、敷地の提供を市に要望した。

行政の公平性

「寝耳に水」市は協議を断り、小川力しないのか。移転間、学部長は「患者の利便性が報じられた9日、市を考へる、駅周辺に病院所には問い合すが相院をどう考へもある」次いだ。ただ、市は「これ」と話す。

「どう対応すべきか。た。建築規制の緩和や加速しない時期に市の考へ設置の費用負担、土地を示すや角博明副市長を駐車場用として提供」市は史跡公園化の方針転たこともある。

「こうした支障の姿勢に、外さず内部協議を始め疑問も根強い。ある医療た。関係者は「敷地不足に悩む病院はほかもある。行する中、関係者に共通するキーワードは「共存共栄」だ。しかし、現状は一方、病院が果たす役割や地域医療のバランスがあるため、市外移転はと米子が膝を突き合わせ考へにくい」という見方も選う。

共存共栄

米子の未来をめぐって、米子市は「共存共栄」を掲げ、米子城跡の整備事業として、三の丸跡地に於ける湊山球場(2・4・6)の敷地を史跡公園として一体的に整備・保存するため、国史跡指定を追加申請する方針を示した。しかし、鳥取大医学部などは9月、学生用グラウンドや付属病院の駐車場などに活用しようと、敷地の提供を市に要望した。